

GUIDER ZERO Ver.1.1.0.0 アップデート機能一覧

アプリ名	機能	改良内容
GZ-基本部	2点間距離	2点間の距離を確認する際に、マウスの移動に合わせて2点間の距離が表示されるようにしました。
GZ-基本部	カット（矩形）	範囲を指定する操作方法として、「範囲指定」「サイズ指定」「定型指定」のモードを追加しました。
GZ-基本部	軌跡表示	軌跡表示に対応し、NMEA観測やGNSS観測中の現在位置、およびWindows Location APIに対応したGPS内蔵PCであればPCから取得した現在位置を利用して軌跡表示できるようになりました。「最新の軌跡位置を画面中心へ」の機能を利用すれば簡単に現在位置を表示中心へ表示移動することができます。 (メニュー [設定] - [観測設定] - [軌跡表示]) ※コマンド未起動時の図面右タップで表示されるポップアップにも [軌跡表示] が存在します
GZ-基本部	デバイダ	作図する補助点のサイズや種類を指定する機能を追加しました。
GZ-基本部	図形移動	図形移動のXY、DXDYの指定で、「数値指定」モードを追加しました。
GZ-基本部	図形基本属性	レイヤー一覧の内容をリスト印刷する機能を追加しました。
GZ-基本部	文字編集	文字のカウントアップ機能を追加しました。
GZ-基本部	文字編集	頭置き文字や後置き文字を指定する機能を追加しました。
GZ-基本部	文字列	文字の配置指定の時に、これまで矩形での表示だったのを文字列として表示するようになりました。
GZ-基本部	補助	作図する補助点のサイズや種類を指定する機能を追加しました。
GZ-基本部	問合せCAD（交点、中心点、投影点、増分点、ベクトル点、接点、内分点、重心点）	作図する補助点のサイズや種類を指定する機能を追加しました。
GZ-有償版	GUIDERメニュー	新アプリ「SKY Controller」と効果音設定機能の追加によるメニュー調整を行いました。
GZ-有償版	Sketchupの3Dモデルで開く	用紙の範囲から3Dモデルを生成し自動的にSketchUpで開く機能を追加しました。国土地理院よりオンデマンドに標高情報（標高タイル）を取得し3Dモデルを生成します。地理院地図を表示させた状態から実行することで、地理院地図の3Dモデルを作成出来ます。また図面と重ねて生成したり、地図のエフェクトを変更して生成することが出来ます。
GZ-有償版	効果音設定	観測のさまざまなタイミングで用意している効果音のオンオフ設定ができるようになりました。 (メニュー [設定] - [観測設定] - [効果音設定])
GZ-有償版	ナビゲートメニュー	新アプリ「SKY Controller」の追加によるボタン調整を行いました。
GZ-有償版	ヘルプ	ヘルプから開けるPDFファイルに「Bluetooth連動(FZ-G1F)」を追加しました。GUIDERバンドルPCでBluetoothによる通信を行う際にご利用ください。

変更内容 アップデート機能一覧

アプリ名	機能	改良内容
GZ-有償版	ライセンスモニター	プログラム管理情報の更新機能を追加しました。パッケージを追加購入した場合に、プログラムを再インストールすることなく、購入パッケージの機能を利用することが出来ます。
GZ-有償版	標高点を登録	用紙の範囲に対して、国土地理院が提供する標高情報（標高タイル）から標高点を自動作成する機能を追加しました。 日本全国（一部地域除く）において、オンデマンドに標高値を取得し標高点を登録し、CAD図面の高さ付けに利用出来ます。
GZ-有償版	表示中心付近を地理院地図3Dで表示	画面に表示されている中心付近より、国土地理院の「地理院地図3D」をダイレクトに開く機能を追加しました。
GZ-有償版	表示中心付近を地理院地図で表示	画面に表示されている中心付近より、国土地理院の「地理院地図」をダイレクトに開く機能を追加しました。
GZ-CAD作図	円付文字	文字のカウントアップ機能を追加しました。
GZ-CAD作図	円付文字	頭置き文字や後置き文字を指定する機能を追加しました。
GZ-CAD作図	円付文字	円の大きさを固定して作図する、「円高指定」モードを追加しました。
GZ-CAD作図	円付文字	背景マスクの設定を追加しました。
GZ-CAD作図	平行線	平行線の本数を自動計算して設定値として取り込める機能を追加しました。
GZ-CAD作図	方向指示平行線	指定した基線と同じ方向に線図形を登録する、「方向指示平行線」のコマンドを新規に追加しました。
GZ-CAD編集	コピー（矩形）	範囲を指定する操作方法として、「範囲指定」「サイズ指定」「定型指定」のモードを追加しました。
GZ-CADパーツ	面パーツ	面パーツの種類に「たたきの絵柄」を標準パーツとして追加しました。
GZ-CADラスタ	地理院地図	地理院地図の表示／印刷に対応しました。 メニューの設定に「地図データ条件」「地理院地図を表示する」等の各種機能を追加しました。
GZ-CADラスタ	地理院地図の設定	地理院地図で表示する地図の種類を追加したり表示動作を設定する為の機能を追加しました。 地図の一覧はオンデマンドで取得されるので、災害等に国土地理院が追加する空中写真や防災地図等に即座に利用出来るようになります。
GZ-Robotic PILOT	新アプリ	新アプリ「Robotic PILOT」を追加し、TrimbleサーボTSの遠隔コントロールが行えるようになりました。 TSはefit for TCU Ver 1.3.11.0以降またはefit for S3 Ver 1.0.4.0以降にする必要があります。 （メニュー【観測】 - 【TS設定】でTrimble Sシリーズのプロトコル「NTRobo」を利用して観測）
GZ-SKY Controller	新アプリ	新アプリ「SKY Controller」を追加し、Ntrip方式によるGNSS観測が行えるようになりました。 （メニュー【観測】 - 【GNSS設定】，【GNSS観測開始】，【GNSS観測終了】） （メニュー【設定】 - 【GUIDERデータ表示】 - 【GNSS基線表示】）
その他	Sketchup表示	Sketchup環境にインストールする「NT_Plugin.rbz」をSketchup64Bit版に対応しました。 ご利用の場合は、GUIDER ZEROのインストール後、ヘルプの「SketchUp Plugin のインストール」を参照して別途Sketchup環境への登録が必要です。

GUIDER ZERO Ver.1.1.1.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
GUIDER ZERO基本機能	GUIDERデータ表示設定	「GUIDERデータ表示」をさまざまな表現ができるように設定を追加しました。「GUIDERデータ表示」は図面に登録された測点や観測の情報を表示する機能です。
GUIDER ZERO基本機能	TS観測開始	器械点や後視点を図面上のピックで指定するとき、ピック対象の点が存在しないときは何も行わない動作でしたが、空きNoにピックした位置を新点登録して利用するかどうかのメッセージを表示し、そのまま利用できる機能を搭載しました。操作の練習などをより簡単にいけるようになりました。
GUIDER ZERO基本機能	TS観測開始	器械点や後視点到に編集ロックされている測点を指定すると観測開始できなかった件を改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	カットコマンド	領域を指定するモード毎に、「繰り返し領域を指定する」か「領域を指定後に配置位置にフォーカスを移動する」かを指定する「繰り返し指定」の条件を追加しました。
GUIDER ZERO基本機能	常駐機能	CF-19のような「感圧式タッチパネル」を搭載した機器で、常駐機能「タプー覧-測点一覧」を有効にすると、タッチで測点DBが起動すると同時にエラーが発生する場面があった件を改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	表示	観測ドッキングウィンドウのタイトルバーにある[×]ボタンを意図せず押してしまうことでウィンドウが閉じることがあったため、除去しました。観測ドッキングウィンドウを閉じたい場合は、メニュー [表示] - [ドッキングウィンドウ] - [観測] をご利用ください。なお、観測ドッキングウィンドウを閉じた場合でも観測は終了せず、画面が一時的に非表示になるだけです。
GUIDER ZERO基本機能	移動、複写	図形要素を指定していない状態でも、回転・倍率を先に指定できるように改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	移動コマンド	2点指示の場合に倍率を常に等倍にする条件「等倍固定」を追加しました。
GUIDER ZERO基本機能	図形情報	文字高さ、幅、間隔の設定で小数点以下1位までしか表示していなかったのを小数点以下2位まで表示するように改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	文字（線分配置）	線分に円・円弧を指示し、カーソルを動かすと残像が帯状に表示され図形が見えなくなる件を改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	文字列	「引出記入」「2点配置」等の作図モードをポップアップメニューから指定できるよう機能追加しました。
GUIDER ZERO基本機能	文字列、文字編集	カレントレイヤが非表示の時、作図編集集中の文字参考表示（VO）が表示されない件を改善しました。
GZ-MAX	スケッチメモ	現場観測中にさまざまな情報を図面にフリースケッチできる「スケッチメモ」機能を搭載しました。従来GUIDERで好評頂いていた「現況スケッチ」の機能です。（特許第3148744号）
SKY Controller	GNSS観測	GALILEO衛星に対応しました。GNSS設定-観測設定や衛星情報画面でマスク設定でき、捕捉状況はスカイプロットや観測画面下部のコントロールパネルにある[衛星情報]ボタンで確認できます。
SKY Controller	GNSS観測	受信機の再初期化（整数値バイアスの再計算）に対応しました。コントロールパネルのメニューを開いた画面の左上にボタンを追加しています。RTK-VRS観測時にFloatが続くようなとき、ご利用ください。（捕捉衛星状況が悪いなどの際は状況改善しません）
SKY Controller	GNSS観測	GNSS設定-登録設定にR10の電子気泡管機能を活用する登録モード「チルト範囲単独」と「チルト範囲連続」を追加しました。[REC]を押した後、R10を整準すると指定秒後に測点登録できます。「チルト範囲連続」では[REC]⇒指定秒整準⇒測点登録⇒移動⇒指定秒整準⇒測点登録のように観測することができます。
SKY Controller	GNSS観測	観測中にGNSS受信機の電源Offしたり、受信機とのBluetooth接続が切れたとき、GUIDER ZERO終了時や再度観測開始したときなどにエラーが発生する場面があった件を改善しました。
SKY Controller	GNSS観測	コントロールパネルの《衛星情報》やスカイプロットで表現している各衛星種別の色を調整しました。GPSが青系背景に青系の文字色だったため屋外で視認不良な場面がありました。

GUIDER ZERO Ver.1.1.1.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
SKY Controller	GNSS観測	観測中にRECへ表示される取得データの品質文字列を調整しました。（「GPS fix/非FIX」および「DGPS fix/非FIX」を「単独測位/非FIX」に調整）
SKY Controller	GNSS観測	新GNSS受信機「R8s」に対応しました。
SKY Controller	GNSS観測	[ヘルプ] - [Bluetooth連動(FZ-G1F)PDFを開く] で開くPDF文書に、GNSS受信機R10の場合の手順を追加しました。
CAD編集	コピーコマンド	領域を指定するモード毎に、「繰り返し領域を指定する」か「領域を指定後に配置位置にフォーカスを移動する」かを指定する「繰り返し指定」の条件を追加しました。
CAD編集	属性変更	線パーツや面パーツで複数の図形に対して「詳細図形化」が行える機能を追加しました。同じパーツ種別の図形を複数選択している場合に「詳細図形化」が指定できます。
CAD編集 CADパーツ	要素変換	変換方法の指定に「点⇒点パーツ」モードを追加しました。 図形要素「点」を「点パーツ」に一括変換することができます。 ※ 本追加機能の利用には有償アプリ「CAD編集」と「CADパーツ」が必要です
CAD編集	要素変換	変換対象図形を強調して表示することができる「要素確認表示」の機能を追加しました。

2015年10月 株式会社 ニコン・トリンプル

GUIDER ZERO Ver.1.1.2.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
GUIDER ZERO基本機能	GUIDERデータ表示設定	GUIDERデータ表示の結線や文字のハイライト表現に対応しました。また、文字背景抜き表示にも対応し、地理院地図表示（CADラスタアプリ機能）を行った時などに文字を見易くできるようにしました。
GUIDER ZERO基本機能	NMEA設定	スライダーコントロールだった「ポート」をスクロールバーコントロールにし値を指定しやすくしました。左右端の矢印ボタンは1つつ、つまみと矢印ボタンの間のスペースは10つつ変化します。
GUIDER ZERO基本機能	<新機能> 測点位置の移動にCAD端点が追従	測点の位置が変更された場合に、変更前と同じ位置に存在するCADデータの端点も同時に移動する機能を追加しました。また、観測と同時に作図または「測点属性作図」で作図されたCAD図形は、同じ位置に存在しなくても、該当測点の移動量で同じく移動します。測点位置が変化するのは、測点DBシートで座標値変更、TS観測DBシートで再計算、インポート座標SIMAで上書き登録の3箇所です。
GUIDER ZERO基本機能	<新機能> TS観測DBシート（閲覧）	TS観測DBシートを新たに追加し、TS観測の詳細情報が確認できるようになりました。
GUIDER ZERO基本機能	<新機能> TS観測DBシート	新たに追加された機能「TS観測DBシート」は有償アプリをご購入いただいた環境では器械高や目標高の変更などの編集が行えます。 ※ 角度や距離は変更できません ※ 観測中は「TS観測DBシート（閲覧）」コマンドが起動します
GUIDER ZERO基本機能	TS観測開始	データ保全の観点から、後視方向角入力時の後視点XY登録は、XYが既に登録されている測点に対しては行えないようにしました。
GUIDER ZERO基本機能	TS観測開始	器械点後視点画面を表示中はナビゲートメニュー（ドッキングウィンドウ「観測」）を一時的に非表示にするようにしました。
GUIDER ZERO基本機能	TS設定	スライダーコントロールだった「ポート」をスクロールバーコントロールにし値を指定しやすくしました。左右端の矢印ボタンは1つつ、つまみと矢印ボタンの間のスペースは10つつ変化します。
GUIDER ZERO基本機能	観測	データ保全の観点から、XYが既に登録されている測点への上書き観測は行えないようにしました。
GUIDER ZERO基本機能	常駐	コマンドが何も動作していないとき、図面上で右クリックすると表示されるポップアップに「タップ一覧」- 「TS観測一覧」を追加しました。これにチェックが入っている状態のとき図上タップすると、タップ位置にある測点を選択された状態でTS観測一覧を開きます。
GUIDER ZERO基本機能	常駐	コマンドが何も動作していないとき、図面上で右クリックすると表示されるポップアップに「データ一覧」- 「TS観測一覧」を追加しました。これを選択するとTS観測一覧を開きます。
GUIDER ZERO基本機能	測点DBシート	「Noの連続変更,名称の連続変更」が、2件以上の測点を選択しないと利用できなかった件を改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	測点DBシート	「Noの連続変更」の結果、Noが7桁以上で登録されることがあった件を改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	<新機能> 測点DBシート（閲覧）	観測中に測点DBシートを起動したとき、データの変更や追加が行えない「測点DBシート（閲覧）」コマンドを起動するようになりました。
GUIDER ZERO基本機能	ナビゲートメニュー	ドッキングウィンドウ「観測」のナビゲートメニューで表示される文字サイズを大きくし、項目も整理して選択しやすくしました。
GUIDER ZERO基本機能	表示フィルタ	GUIDERデータ表示設定をドッキングウィンドウ「表示フィルタ」へ追加し、表示切替などが簡単に行えるようになりました。

GUIDER ZERO Ver.1.1.2.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
GUIDER ZERO基本機能	<新機能> 保存履歴	図面を保存するとき、図面を開いてから新たに追加されたCAD図形に対して内部情報を付加し、履歴情報を保持できるようにしました。メニュー [編集] - [保存履歴] で確認することができます。「保存履歴」はTOWISE Ver.5.5.0.0以降の「GUIDER ZEROデータのインポート」機能で指定保存履歴以降のデータのみ取得などが行えるようになり内外業を並行作業しているときなどに効果的に活用できます。
GZ-MAX	<新コマンド> 4点交点登録	既存測点で構成される2直線から「4点交点」を求めて測点登録するコマンドを追加しました。 ※ 従来GUIDER数値平板CADの「4点交点」コマンド同等機能です
GZ-MAX	<新コマンド> オフセット点登録	既存測点で構成される線分を基準として、メジャーやコンベックスなどで計測した値を指定することで「オフセット点」を求めて測点登録するコマンドを追加しました。 ※ 従来GUIDER数値平板CADの「移動点（2点指示）」コマンド同等機能です
GZ-MAX	<新コマンド> 測点情報作図	測点が保持する情報（No名称や座標値など）を文字列で周辺に作図します。測点位置にはプロットも作図でき、それぞれの作図には自由度の高い作図設定が行えます。 ※ 従来GUIDER数値平板CADの「追加プロット、座標入力プロット、点情報作図」コマンドの機能を網羅したコマンドです
GZ-MAX	<新コマンド> 測点登録	CAD図形を活用したスナップやグリッドまたはラスタから取得した位置などに測点登録するコマンドを追加しました。 ※ 従来GUIDER数値平板CADの「現況座標登録」コマンド同等機能です ※ 「問合座標」機能で求めた位置も利用できます
Robotic PILOT	STS連携全般	観測画面の最下部にブルー基調でバー表示されていたコントローラを独立ウィンドウとし、インタフェースをefit+ for TCUのTSMモードと同等にしました。独立ウィンドウ「Sシリーズコントローラ」は、画面の基本的な位置に吸着配置できます。efit+ for TCU同等の機能メニューも利用できるようになりました（「気泡管、センタリング、測機、芯出、角出、測高、座標変換、ビデオ」は表現を合わせるためアイコンが存在していますが機能しません）。 ※ efit+ for TCU Version 1.4.2.0以降と連動してご利用ください
Robotic PILOT	STS連携	プリズム定数を常時画面へ表示するようになりました。（Sシリーズコントローラ画面ステータスバー）
Robotic PILOT	STS連携	ノンプリ⇒プリズムを切り替えられるようになりました。
Robotic PILOT	STS連携	測距ボタンを常時画面へ表示するようになりました。efit+ for TCU同等の測距中アニメーションも再現しています。（Sシリーズコントローラ画面ステータスバー）
Robotic PILOT	STS連携	オートロック状況表示ボタンで、efit+ for TCU同等のオートロックOnアニメーション表示を行うようになりました。（Sシリーズコントローラ画面ステータスバー）
Robotic PILOT	STS連携	RECボタンをSシリーズコントローラ画面ステータスバーに用意しました。（Sシリーズコントローラ画面）
Robotic PILOT	STS連携	機能メニューに《レーザーポインタ切替》ボタンを用意しました。（Sシリーズコントローラ画面）
Robotic PILOT	STS連携	機能メニューに《距離レンジ設定》ボタンを用意しました。（Sシリーズコントローラ画面）
Robotic PILOT	STS連携	機能メニューに《測距ターゲット切替》ボタンを用意しました。（Sシリーズコントローラ画面）
Robotic PILOT	STS連携	機能メニューに《反転》ボタンを用意しました。（Sシリーズコントローラ画面）

GUIDER ZERO Ver.1.1.2.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
Robotic PILOT	TS設定	TS設定の先頭画面に存在していた「グリッパーコントロール」グループを「RoboticPILOT」グループに名称変更し、「使用する」チェックボタンを「グリッパーコントロールを使用」に変え、「遠隔操作する」チェックボタンを追加しました。 「遠隔操作する」チェックボタンをオンにすればプロトコルが「TSモード」や「平面観測」などになっていても強制的に「NTRoboプロトコル」で動作し、遠隔操作できるようになります。 ※ TS側の設定は「NTRoboプロトコルを使用する」にチェックを入れてください ※ TS設定でSシリーズTSを選択している時のみ該当する内容です
Robotic PILOT	効果音設定	「測距（RoboticPILOT）、その他（RoboticPILOT）」項目を追加し、本バージョンで追加された効果音（Trimble-Sシリーズの測距音、Trimbleキーのプッシュ音、チルトオーバーレンジ時のエラー音、測距不可時のエラー音）をコントロールできるようになりました。
Robotic PILOT	観測	チルトオーバーになるとefitと同じ効果音と音声を再生するようにしました。
Robotic PILOT	観測	測距を開始して30秒経過しても値取得できないときはefitと同じ音声を再生するようにしました。
Robotic PILOT	観測	測距取得音を再生するようにしました。
Robotic PILOT	観測	勾配値は水平距離と比高から算出していましたが鉛直角から求めるように変更し、efit for TCUで表示される値と一致するようにしました。
Robotic PILOT	観測	TRK測距を開始し、連続測距中にGUIDER ZEROのRECボタンでデータ取得した際は測距を止めないようにして、より機動的に観測作業が行えるようになりました。「測距を止める、止めない」はTS設定で変更することができます。
Robotic PILOT	気温気圧設定	気温気圧の指定範囲を広げました（気温 -70.0℃～70.0℃、気圧900.00hPa～1200.00hPaへ）。また気圧はefitに合わせ、下 2 桁まで指定できるようになりました。
Robotic PILOT	タップ旋回	タップ旋回中のマウスカーソルをミラーアイコンにしました。
Robotic PILOT	プリズム設定	プリズムモードによってプリズム設定の画面を変えるようにしました。ノンプリモードの際のプリズム設定ではノンプリモード用のプリズム定数のみ変更できる画面になっています。
Robotic PILOT	プリズム設定	プリズムタイプに「T-360SL LED Target」を追加しました。
SKY Controller	<新受信機対応> GNSS観測	新GNSS受信機「R2」に対応しました。
SKY Controller	GNSS観測	【ヘルプ】 - 【Bluetooth連動(FZ-G1F)PDFを開く】 で開くPDF文書に、GNSS受信機R2の場合の手順を追加しました。
SKY Controller	GNSS設定 - 観測設定	スライダーコントロールだった「ポート」をスクロールバーコントロールにし値を指定しやすくしました。左右端の矢印ボタンは 1 づつ、つまみと矢印ボタンの間のスペースは10づつ変化します。
SKY Controller	GNSS設定 - 登録設定	スライダーコントロールだった「気泡管REC時間、チルト許容範囲、偏差水平、偏差鉛直」をスクロールバーコントロールにし値を指定しやすくしました。左右端の矢印ボタンは 1 づつ、つまみと矢印ボタンの間のスペースは10づつ変化します。
SKY Controller	衛星情報	スカイプロット上でQZSSが表示されているのに、リスト表示で「解に使用」にならなかった件を改善しました。
SKY Controller	受信機とアンテナ情報	アンテナ高の指定範囲を広げました（0.000m ～ 10.000m）

GUIDER ZERO Ver.1.1.2.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
CADラスタ	地理院地図の設定	国土地理院により公開されている「地図データ定義ファイル」が2016年3月24日頃に更新され、その影響で「地図データの設定」の《防災関連》ボタンを押すとエラーが発生していた件を改善しました。

2016年5月 株式会社 ニコン・トリプル

GUIDER ZERO Ver.1.1.3.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
GUIDER ZERO基本機能	TS設定	従来の形式（ケーブルやBluetooth仮想ポート接続）時に選択する「シリアル」と、「Bluetoothデバイスでダイレクト通信」を指定できるようになりました。「Bluetoothデバイスでダイレクト通信」を指定すると、同時に指定するBluetoothデバイスとペアリング不要で即座に観測できるようになりました。詳しくはヘルプやメニュー [ヘルプ] - [Bluetooth連動(FZ-G1F)PDFを開く] の資料を参照ください。（OS標準スタック環境のみ使用可能で、東芝スタック環境では使用不可） ※「スタック」とは、Bluetooth ドライバとその他のユーティリティソフトをひとまとめにしたものです。
GUIDER ZERO基本機能	TS観測	Bluetoothデバイスとダイレクト通信できる機能を搭載しました。TS設定で「Bluetoothデバイスでダイレクト通信」を選択したとき、同時に指定するBluetoothデバイスとペアリング不要で即座に通信できるようになりました。詳しくはヘルプやメニュー [ヘルプ] - [Bluetooth連動(FZ-G1F)PDFを開く] の資料を参照ください。（OS標準スタック環境のみ使用可能で、東芝スタック環境では使用不可）
GUIDER ZERO基本機能	TS観測	Trimble-SシリーズとNTRoboプロトコルによる観測時、TRK測距を行うと測距取得が速いため、GUIDER ZERO側で測距音が鳴らないような状況でした。音がしっかり聞こえるよう改善しましたが、音の再生スピードより測距が速いことは変化していないため、「Trimble-Sシリーズ、NTRobo、TRK測距」では取得タイミング音ではなく取得しているステータス音としての運用となります。
GUIDER ZERO基本機能	NMEA設定	従来の形式（ケーブルやBluetooth仮想ポート接続）時に選択する「シリアル」と、「Bluetoothデバイスでダイレクト通信」を指定できるようになりました。「Bluetoothデバイスでダイレクト通信」を指定すると、同時に指定するBluetoothデバイスとペアリング不要で即座に観測できるようになりました。詳しくはヘルプやメニュー [ヘルプ] - [Bluetooth連動(FZ-G1F)PDFを開く] の資料を参照ください。（OS標準スタック環境のみ使用可能で、東芝スタック環境では使用不可）
GUIDER ZERO基本機能	NMEA観測	Bluetoothデバイスとダイレクト通信できる機能を搭載しました。NMEA設定で「Bluetoothデバイスでダイレクト通信」を選択したとき、同時に指定するBluetoothデバイスとペアリング不要で即座に通信できるようになりました。詳しくはヘルプやメニュー [ヘルプ] - [Bluetooth連動(FZ-G1F)PDFを開く] の資料を参照ください。（OS標準スタック環境のみ使用可能で、東芝スタック環境では使用不可）
GUIDER ZERO基本機能	測点情報表示	「測点情報を表示する」機能使用時、「画面上部表示する」設定にしていると、YにXの値を表示し、XYの内容が同じになっていた件を改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	2点間距離（問合）	マウス操作時に表示される距離をカーソル位置からの距離ではなくスナップ予告位置からの距離にしました。
GUIDER ZERO基本機能	印刷	透過ペイント付きの図面印刷で、1 ペイント要素内の一部分が透過できない場合があった件を改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	印刷／印刷プレビュー／一括印刷	SXFブラウザ式フッターの印刷に対応しました。
GUIDER ZERO基本機能	プロパティ 図形情報	点パーツ、線パーツ、面パーツ同時に詳細図形化ができるようになりました。図形のプロパティにて複数の種類のパーツが混在していても詳細図形化が行えます。
GUIDER ZERO基本機能	一覧確認	一度に表示できる枚数が9枚（3×3）だったのを16枚（4×4）に拡張しました。
SKY Controller	GNSS設定	従来の形式（ケーブルやBluetooth仮想ポート接続）時に選択する「シリアル」と、「Bluetoothデバイスでダイレクト通信」を指定できるようになりました。「Bluetoothデバイスでダイレクト通信」を指定すると、同時に指定するBluetoothデバイスとペアリング不要で即座に観測できるようになりました。詳しくはヘルプやメニュー [ヘルプ] - [Bluetooth連動(FZ-G1F)PDFを開く] の資料を参照ください。（OS標準スタック環境のみ使用可能で、東芝スタック環境では使用不可）

GUIDER ZERO Ver.1.1.3.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
SKY Controller	GNSS観測	Bluetoothデバイスとダイレクト通信できる機能を搭載しました。GNSS設定で「Bluetoothデバイスでダイレクト通信」を選択したとき、同時に指定するBluetoothデバイスとペアリング不要で即座に通信できるようになりました。詳しくはヘルプやメニュー [ヘルプ] - [Bluetooth連動(FZ-G1F)PDFを開く] の資料を参照ください。(OS標準スタック環境のみ使用可能で、東芝スタック環境では使用不可)
CAD作図	長さ寸法線 (2点)	間隔が狭い範囲で作図する場合に数値だけを作図する設定を追加しました。「内向き時に矢先間を作図しない」のチェックボックスが追加されています。
CAD作図	長さ寸法線 (線長)	間隔が狭い範囲で作図する場合に数値だけを作図する設定を追加しました。「内向き時に矢先間を作図しない」のチェックボックスが追加されています。
CAD拡張	製図基準チェック	重複チェックにおいて、文字サイズなどの小数以下の判定を実体系2桁から用紙系2桁に見直しました。
DWG/SXFコンバータ	SXFインポート/SXFエクスポート	SXF圧縮ファイル (SFZ/P2Zファイル) の変換に対応しました。
現況CAD	簡易断面図	入力内容の保存および呼出の機能で、ファイル選択画面が表示されたときのカレントフォルダを、前回指定した場所になるよう改善しました。
現況CAD	標高設定 (要素)	設置する標高値をそのままの値で登録するか、現在の標高にオフセットするかの条件を追加しました。
現況CAD	法面 (上端下端)	上端線と下端線を指示して法面を自動配置する作図モードを追加しました。

2017年 3月 株式会社 ニコン・トリンプル

GUIDER ZERO Ver.1.1.4.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
GUIDER ZERO基本機能	テンキー入力	特に頻繁に数値入力と思われる部分で独自のテンキーによる入力に対応しました。 オフセット点登録, 4点交点登録, 測点登録, 現況トレース, TS観測開始, TS観測, GNSS観測, 受信機とアンテナ情報, NMEA観測, 測線管理
GUIDER ZERO基本機能	現況DBシート (現況一覧)	観測コードを指定して観測または現況トレースした図形の一覧を表示します。それら図形にはそれぞれに観測コードを保管していますので、観測コードの変更や再作図を行なうこともできます。
GUIDER ZERO基本機能	現況属性設定	観測コードに対してどのような現況作図展開を行なうか設定できます。この観測コードは各種観測機能の属性観測や現況トレースコマンドで利用します。GUIDER+のデータ保守機能で保管した現況属性設定および現況属性表設定をインポートすることもできます。初期提供では「サンプル初期値 (CADベース)」と「GUIDER+」を用意しており、「GUIDER+」はGUIDER+のVer2.22で提供している現況属性設定をインポートしたものです。なおその現況属性設定が参照しているパーツは「GUIDER500」のものであります。
GUIDER ZERO基本機能	現況属性表設定	登録されている現況属性設定の観測コードをグループ化 (選択抜粋) するコマンドです。グループには名前を付けることができますので、観測時や現況トレースで素早く観測コードを選択することができますようになります。
GUIDER ZERO基本機能	属性観測	TS/GNSS/NMEA観測で属性観測 (観測コード指定による作図) に対応しました。 観測コードを指定して観測を行うと、そのコードへあらかじめ設定しておいた現況作図展開が行なえます。
GUIDER ZERO基本機能	問合せ	全ての問合せコマンドに条件 (座標/距離/角度等の丸め) を追加しました。 指示情報を丸めて計算し、問合せ結果を丸めた値で表示できるようになりました。
GUIDER ZERO基本機能	問合せ 2点間距離	指定した2点がZ値を保有していたとき、2点間斜距離及び高低差の表示を行うようにしました。
GZ-MAX GZ-2500	ストック観測 (属性観測op)	該当のアプリを保有されていれば、本バージョンで提供した属性観測で、同時に複数の属性を観測する追加機能をご利用いただけます。
GZ-MAX GZ-2500	平行線観測 (属性観測op)	該当のアプリを保有されていれば、本バージョンで提供した属性観測で、観測線と平行に複数の現況線を作図する追加機能をご利用いただけます。
GZ-MAX GZ-2500	現況トレース	観測コードを指定し、タップによる位置指定で現況トレースできます。
Robotic PILOT	軌跡	Trimble-SシリーズをNTRoboプロトコルでご利用時、連続測距を行なうと図面上に現在位置の軌跡を表示するようにしました。NMEA観測やGNSS観測では従来から対応しているもので、メニュー [設定] - [軌跡表示] - [現在観測位置軌跡を表示する] のチェックがOnのとき表示します。
Robotic PILOT SKY Controller	測線管理 測線観測	事前に決めた1つまたは複数線上の点の観測を支援する機能を追加しました。例えば道路横断方向の変化点をGNSS観測で効率よく取得するなどの目的で利用できます。
Robotic PILOT	タップ旋回	RoboticPILOTのタップ旋回 (マップサーチ) でタップ位置の点にZ値を保有しているとき、鉛直方向にも旋回するようにしました。Z値が取得できない場合は鉛直方向は水平に向きます。
CAD作図	飾り文字	文字配置方法で「右よせ」「中央配置」「均等配置」が指示できるようになりました。
CAD作図	寸法線	新たな寸法線コマンドを追加しました。 作図時に作図寸法形式 (はさみ寸法や片寸法等) や配置方法 (横平行・縦平行・指示線平行) 等を指定し、作図結果を画面で確認しながら操作できます。
CAD作図	寸法線変更	寸法線変更コマンドを新たに追加しました。 作図済み寸法線の文字 (値) や矢先形状の変更が行えるようになりました。
CAD作図	連続平行線	平行線間隔について、累計指定に加え、区間間隔値の指定が行なえるようになりました。
CAD作図	連続平行線	登録図形の種類について、ポリラインだけでなく線分の指定ができるようになりました。

GUIDER ZERO Ver.1.1.4.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
CAD編集	線修正	端点を指示して端点と修正線との垂点位置まで線の長さを修正できるようになりました。
CAD編集	要素変換	寸法線の要素変換が行えるようになりました。
CADパーツ	線パーツ	ピッチ変更時に幅を自動更新、または幅を変更時にピッチを自動更新するモードを追加しました。
CADパーツ	線パーツ	離れの値を用紙系/実寸系のモードに合わせて利用できるようになりました。
CADパーツ	素材 GUIDER500	GUIDER500の提供パーツをGUIDER+ Ver.2.22のものに更新しました。
CAD拡張	ハッチング (領域指示)	範囲指定で領域内の図形要素から閉合する領域を自動算出して、複数ハッチングの一括登録が行えるようになりました。
CAD拡張	ペイント	画面のペイント色指定部に R G B 値を表示しました。
CAD拡張	ペイント (領域指示)	範囲指定で領域内の図形要素から閉合する領域を自動算出して、複数ペイントの一括登録が行えるようになりました。
CAD拡張	重なり図形検索	検索図形を表示して削除ができるようになりました。
CADラスタ	地理院地図	地理院タイル取得の通信で、https及びhttp/2に対応しました。 より安全かつ高速に地理院タイルをご利用いただけます。
現況CAD	横断歩道	横断歩道の作図コマンドを追加しました。

2017年04月 株式会社 ニコン・トリプル

GUIDER ZERO Ver.1.1.5.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
TOWISE CAD	図形基本属性設定	線幅の用紙幅を最大5mmまで指定可能でしたが、最大10mmまで指定できるようにしました。
TOWISE CAD	問合せ（2点間距離）	コマンド起動直後にPSのXに対して手入力した値が画面に反映されない件を改善しました。
TOWISE CAD	問合せ（線長）	クロソイド図形を選択するとフリーズする件を改善しました。
その他	地理院地図の設定	最新の「防災関連の情報等／基準点・測地観測／他機関の情報」の地図データを指定できるようにしました。
その他	地理院地図の設定	PDF形式で公開されている凡例情報等を設定画面で確認できるようにしました。 ※お使いのコンピュータの状態により表示できない場合もあります。
現況CAD	観測現況展開	展開設定のタイプ「線・面」で「要素設定：線パーツ」を設定したとき、「ピッチ・幅」を実寸値で指定できる機能を追加しました。また、線パーツの設計時のピッチ幅比率を維持した入力もできるようになりました。
コンタ自動作成	New! コンタ自動作成	これまでDataEditorで開いたCADドキュメントでのみ利用可能でしたが、TOWISE-CAD/GUIDER ZEROでも動作できるようになりました。※GUIDER ZEROでは測点のZ値を利用してコンタ自動作成を実行することができます
GUIDER ZERO基本機能	New! 交点計算情報	交点計算情報のデータベースを追加しました。平行観測の平行点を算出した交点情報や、オフセット点登録、4点交点登録の計算情報が登録されます。交点計算情報の一覧コマンドでは内容の確認、再計算などを行なうことができ、交点計算情報はTS観測DBによる再計算でも利用します。
GUIDER ZERO基本機能	TS観測 <平面観測プロトコル>	目標高の指定間違いなどによる訂正情報で観測済みの点を更新できるようになりました。
GUIDER ZERO基本機能	TS観測 <平面観測プロトコル>	TS側の平面観測で訂正データを開き、Enterキーを押し続けて観測データを連続送信すると、送信データが一部欠落することがあった件を改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	現況属性設定	現況属性設定のタイプ「線・面」で「要素設定：線パーツ」を設定したとき、「ピッチ・幅」を実寸値で指定できる機能を追加しました。また、線パーツの設計時のピッチ幅比率を維持した入力もできるようになりました。
GUIDER ZERO基本機能	整列	CAD図形の整列機能を実行すると動作が止まっていた件を改善しました。
GZ-MAX	New! 図面座標変換	図面に登録されている測点やCADデータ全てを一括で座標変換するコマンドを追加しました。変換後の測点情報を用いてTS観測DBや交点計算情報による再計算も行うことが可能で、全てのデータを精度よく変換できるようになります。
GZ-MAX	TS観測 <平面観測プロトコル>	平行設定、ストック観測が利用できるようになりました。
SKY Controller	GNSS観測	以下のアンテナに対応しました。 ・Zephyr 3 Rover ・Zephyr 3 Base
SKY Controller	GNSS観測	みちびき2号機に対応しました。また衛星情報画面ではこれまで193で表示していたみちびき初号機を1に変更し、みちびき2号機は2で表示します。
SKY Controller	GNSS観測 エポック観測	GNSS観測でエポック観測中、取得位置が移動前位置(前観測点)近辺になることがあった件を改善しました。

2017年10月 株式会社 ニコン・トリプル